

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	自動車備品販売 店（従業員）	来客数の動き	・同業種の競合店が今月オープンしたにもかかわらず、売上が安定して伸びている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・広告を利用して値引きの告知をしたところ、割と反応が良かった。割引や企画によって客が動くという状況である。
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	来客数の動き	・昨年は地元球団の優勝セールで同業他社に客が随分流れたが、今年はそれがなかったため、既存店舗約30店舗が大体前年上回った。少し良くなっている。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・今月は温暖なため鍋商材関連の動きが多少鈍いものの、客足は好調であり、3か月前に比べ全般的に好調である。
		スーパー（経理 担当）	販売量の動き	・野菜の高値が続き、販売額は増加している。ただし、景気自体が良くなったわけではない。
		高級レストラン （経営者）	来客数の動き	・今月は天候も良く、コンスタントに会食等もあったため、ややいい方向に向かっている。客単価も良くなった。
		高級レストラン （経営者）	来客数の動き	・個人需要はやや良くなっているが、法人需要は依然として落ち込みが続いている。
		高級レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・例年であれば11月は大相撲九州場所による需要があるが、今年はいしたことはない。しかし、学会や団体の総会などがあるため、人の動きは良いようだ。
		一般レストラン （スタッフ）	単価の動き	・新しいメニューに単価の高いものを数点準備したところ、思いのほか注文がある。
		テーマパーク （職員）	来客数の動き	・11月は韓国からのインセンティブツアーや球団秋季キャンプ、ゴルフトーナメント等が重なり、ホテルも満館の日が多かった。
変わらない	商店街（代表 者）	それ以外	・新幹線効果が続き、観光客を含む来街者が増加しているが、消費拡大には至っていない。	
	商店街（代表 者）	お客様の様子	・天候が不安定であり、冬物の出足があまり良くない。	
	商店街（組合職 員）	来客数の動き	・平日はバス利用の主婦が多いが、日祭日は郊外店に流れているのか、来街者が極端に少ない。	
	商店街（代表 者）	来客数の動き	・徐々に寒くなっているが、防寒衣料がなかなか動き出さない。	
	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・11月末に行った大型イベントへの動員はあったものの、売上に結び付かず、苦戦している。	
	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・食料品の売上は辛うじて前年実績を保っているが、販売数量は減少している。	
	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・食料品、家庭用品関係は前年並みであるが、婦人服、紳士服が非常に落ち込んでいる。	
	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・年末恒例の大型物産催事を開催し、来店客数は伸びたが、当百貨店全体への波及効果はあと一歩であった。買上単価は前年を維持し来店客の購買率はやや向上している。必要な物以外は購入しないという傾向は依然続いているということである。	
	百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・購買数量、購買額は下がる一方である。また、粗品を配れば客が集まるという傾向は変わらない。	
	百貨店（業務担 当）	販売量の動き	・これまで季節の変わり目は、衣料品と身の回り品の組合せで物が動いていたが、今は単品のみ動きが強く、店での滞留時間も短くなっている。	
	百貨店（売場担 当）	競争相手の様子	・近隣の既存店舗が値引きやポイント還元セールを頻繁に行っている。特に当店では衣料品関係が冷え込んでいるが、同業者の話聞いても、さほどいいという話は聞かない。曜日配列の特殊要因を除いても今月は前年比97%といったところで、決して良いとはいえず、3か月前と比べても変わらない。	
	スーパー（店 長）	販売量の動き	・客数は横ばい、もしくは増加傾向にあるが、客の買上単価が低くなっている。無駄な商品は買わないという状況である。	
	スーパー（店 長）	単価の動き	・客数はあまり変わらないが、客単価が落ちている。	
	スーパー（店 長）	販売量の動き	・買上客数は前年比100.6%と前年並みだが、買上点数が前年の9割程度と下がっており、結果として客単価が低下している。	

スーパー（総務担当）	単価の動き	・食料品分野では、青果の値段が落ち着いたことで上向いているが、衣料品関係は暖冬の影響から低調である。単価の低いものしか売れない。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・1年で一番盛り上がる年末が近づいてきているにもかかわらず、客の盛り上がりが全くみられない。悪い状況が続いている。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・今月当初は売上が前年を大きく下回ったため、中旬以降2週に渡って価格割引等のキャンペーンを実施した結果、前年の98%まで回復した。客は値ごろ感のある商品には飛びつく傾向があり、景気回復の兆しは見せているものの、まだまだ財布のひもは緩んでいない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・婦人服の場合、例年であれば秋は来店客数も売上も上がるが、今年はなかなか動きがない。
衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・暖冬のせいかコート類の動きが鈍く、来客数が少ない。
衣料品専門店（店員）	単価の動き	・今月は冬物のプロパー時期であり、夏場に比べ高単価であるが、売上数量が圧倒的に少なく、しかも戦略商品として特別に用意した単価の低い物に客が集中している。一部の客は高額商品を買うが、ほとんどの方は財布のひもが固く、売上全体としては変わらない。
家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・売れ筋商品、購買層に全体的な広がりがみられない。
家電量販店（企画担当）	お客様の様子	・来店客数は、繁盛ムードもあって多いが、実売価格は思ったより上がっておらず、先が読みにくい。良かったり悪かったりという状況が続いている。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・車の販売においては、以前は衝動買いするというケースが多かったが、今は故障や事故がない限り長く乗られる。
乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・来客数はかなり増えているが、購入される車の単価はほとんど変わらない。
乗用車販売店（管理担当）	来客数の動き	・チラシ等でイベントのPRをしても、なかなか来場者が増えない。また、修理点検等の客が多く、なかなか新車購入の客は増えていない。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・キャンペーンセールが割と良かった。また、ブライダル家具の動きも少しあった。
その他専門店【医薬品】（従業員）	お客様の様子	・必要な商品は高くても買うが、売出をしても余分な買物はしないという傾向がみられる。
その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	販売量の動き	・原油価格の高騰により、仕入価格が上昇し、灯油など小売価格も高い水準であるが、寒さとともに販売量も増加している。ただ、全体的な燃料油高が運送関係業界のコストアップにならないか懸念される。また、石油業界としては暖冬気味であるので、出荷量の低下が懸念される。
その他小売【雑貨卸】（総務担当）	販売量の動き	・台風による補修の工事等で資材に動きがあったが、全体を引っ張るまではいかなかった。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・暖かい日が続いたので客の出足は良かったが、若い人が多く、客単価が伸びない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・勧誘等に対して反応が鈍く、来客数は前年比30%減となっている。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・販売量、客単価は依然として低いが、9～10月と比べても決して落ちていない。
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・年末年始の日並びも悪いが、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア等の遠距離の旅行が不振である。韓国ばかりが売れる状況である。
旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・ビジネス旅行の直前の申込が多く、全体では前年実績を確保している。しかし、海外旅行は動きが鈍く、直前の申込も韓国が中心で単価が低いため、販売額が伸び悩んでいる。
タクシー運転手	お客様の様子	・ゴルフ人気で、月末は盛り上がったが、忘年会が今一伸びが悪く、夜の客がさほど増えていない。
通信会社（管理担当）	来客数の動き	・会員数が微減の傾向が続いている。

	観光名所（職員）	来客数の動き	・観光施設は、例年11月に客数が伸びるが、今年は前年に比べ入園者が20%増加した。九州新幹線開業効果や営業努力が主な要因である。景気は3か月前とほとんど変わっていない。
	ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・経費削減により、何とかして利益を生もうという努力をしている状況である。
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・もう少し仕事が増えると思ったが、計画した物件も案件も、なかなか実際に仕事につながらない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・特に30代の客において、予算的に厳しい案件が多い。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街の中で、売上が悪くなっているという声がこの最近目立つ。当店も同様、昨年と比べ悪くなっている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の来街者も大変少ないが、周りの飲食街も忘年会の申込が全然ないということで、大変苦労している。
	商店街（代表者）	単価の動き	・修理物が多く、新しい物を買わないという傾向がある。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・本来、冬物の防寒物が本格的に動く時期であるが、客の反応は鈍い。気温が下がらないことだけでなく、消費マインドが上向いていないことも影響している。
	百貨店（営業担当）	それ以外	・販売量、単価、入店すべてが落ち込んでおり、非常に厳しい。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今月は前年に比べ土日曜の数が少なかったため、売上は減少した。災害や凶悪事件等社会情勢の変化も消費動向に悪影響を与えている。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・街中に出てくる客数が極端に減っている。郊外への流出も考えられるが、単純に外出を控え、消費が後退しているようにも思える。
	百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・地域内競争、地域間競争の激化で、客数の増加が見込めない。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・以前に比べ衝動買いが少なくなった。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品では、精肉等で原価が高騰し、かなり苦戦した。また、青果の方は相場安になり、3か月前に比べ売上、一品単価ともに落ちている。衣料品は秋物衣料が芳しくない。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・客は高い商品を買わない。また、今まで2つ買っていた人が1つになっており、皆辛抱している。
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・毎月ごとに客の動向は変化するが、最近は悪くなったまま上向かない。例年11月は暇であるが、先月よりも落ち込んでいる。
	衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・客数は減っていないが、客単価は前年同月比では減少している。売出のチラシも、1日目は好調であるが、2日目、3日目は売上が減少している。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・薄型テレビやDVDレコーダー等は好調に推移しているが、その分他の商品が悪化しており、総合的にはやや悪い傾向にある。
	その他専門店〔書籍〕（店長）	来客数の動き	・郊外の大型商業施設の影響から土日祝日の売上、来店客数が減少していたが、今月は平日の客数も減少している。
	タクシー運転手	単価の動き	・台風等の災害が非常に多く、生鮮野菜を始めとして若干下がっていた小売価格が上がっている。それにつられて他の物価の上昇もみられ、景気が少し悪くなったようである。
	タクシー運転手	競争相手の様子	・他社を含め、タクシー利用の市内観光の単価を引き下げて、顧客獲得を図っている。かなり厳しい状況になっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・昼以降の客の電話予約の回数が極端に減った。また、昼から夜中まで空車状態が多く、今月は極端に客の動きが悪い。
	通信会社（業務担当）	販売量の動き	・11月は月初より平日の販売数が落ち込んだほか、月末のキャンペーン前の買い控えもあった。20日以降チラシでのキャンペーン告知を行ったものの、携帯電話の取替え台数は大きく伸びたが新規は伸びず、前半の落ち込み分をばん回できなかった。
	競輪場（職員）	販売量の動き	・九州北部地域全体で発売額が減少している。大きいところは年度当初から2割落ち込んでいる。

		美容室（経営者）	来客数の動き	・1,000円カットの店が出てくる等、客のこだわりが感じられなくなった。客数も減っている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場の来場数が減っている。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・金融機関の融資関係の対応が厳しくなった。
	悪くなっている	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・3か月前に比べ量販店向けの売上が11%減、コンビニエンスストアが3%減、ローカルスーパーが8%増であり、一番稼がなければならない量販店が低下している。パンの割引サービスをあまりにもやり過ぎたため、平日が売れなくなり、結果として数字を落としている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・相変わらず郊外で大型店の出店が続いており、客の流れが商店街から離れてしまっている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・大型家電等と中古車で競合が起こっている。客を訪ねて行くと、100万円の家電を買って、車は買い換えたい、という状況である。新卒予定の方の就職がなかなか決まらないことも影響している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・アジアでの鳥インフルエンザの影響で、主要輸入国からの輸入製品が入ってこないため、国内生産は全体的に好調である。
		農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・台風通過の影響も一段落し、価格も落ち着いてきた。関東地区の露地物も生産能力を回復しつつあり、大田市場での九州地区園芸作物との主力商品入替は、もう少し先になりそうである。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・いまだに台風災害の復旧工事が多く、年末までに消化できない状況である。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注額において、2けたの伸びがみられる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在の状況としては、夏場で商品が動かなかった3か月前とあまり変わらない。また、原油、ガスを使用しているが、このところ毎月のようにガスの価格が値上がりしており、非常に苦勞している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月に入り、受注状況が一段落した。
		金融業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注産業全般において価格競争は現在も続いており、利益幅は依然低い状況にある。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・11月の受注件数は前年比103%とやや持ち直してきたが、安定した受注状況ではない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・地方の製造業では、円高と鋼材価格の高騰をなかなか製品価格に転嫁できず、苦しい状態が続いている。また、サービス業、飲食業に関しては今月もかなり厳しい状況であった。
		経営コンサルタント	それ以外	・債権整理等の仕事が多く、傾向は今までと変わらない。
	やや悪くなっている	農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上数量が思うように伸びない。消費者も低価格志向であるため、やや厳しい。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・11月は例年だと繁忙期となる月であるが、今月の受注量は平均指数の92%であった。当社以外でも今月はあまり良くないようである。一部好景気の業態との格差が出ており、景気全般の躍動感はない。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の仕事量が減っている。また、話の中に前向きな状況がうかがえない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・日曜、祭日出勤で仕事量を確保しているが、コストダウン要請により大変厳しい状況である。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客からの注文量が若干減ってきている。少し景気が悪くなっている。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・全体的に荷動きが悪くなってきた。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・貸出の減少が止まらない。個人向け貸出の伸びも鈍化している。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・焼酎の売上は全般的に伸びているが、関東地区に陰りが見え始めた。売れているのは東北地区等の今まで売れていなかった地区であり、既存の店は買い控えに入っている。今まで売れていた安い焼酎が売れなくなっている。

	悪く なっている	繊維工業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・周りの工場の状況を聞いても、受注が少なく、休ん でいる工場が多い。特に店頭に並ぶ既製品の生産拠 点が海外に進出していて、国内には全くなく、工場の仕 事がつながっていない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連では、電子部品においては大手が在庫調 整に入っており、動きが急速に悪くなっている。ま た、半導体製造装置もここにきて停滞気味である。
		輸送用機械機 具製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・鋼板不足で自動車メーカーのラインが一部休業して いる。そのため生産数が激減した。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	求人情報誌製作 会社（総務担 当）	求人数の動き	・求人情報紙の掲載企業数が引き続き上向きである。 加えて中途採用のウェブサイト参画企業数も伸びてい る。また、新卒採用についても企業の意欲は高まって おり、新卒系採用サイトへの参加企業数も前年に比べ 増加している。
		民間職業紹介機 関（支店長）	求人数の動き	・派遣需要は、年末商戦向けの営業・販売職需要が堅 調に推移している。また、年度末に向けた事務系派遣 需要も前年以上に増加している。ただし、採用側はP Cスキルより高度な者、販売目標を充分クリアでき る者を要望するなど、やや厳しさが出てきた。
	変わらない	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・年末に向け例年であれば求人の動きが活発になると ころが、今年は伸びが遅く、雇用不安が懸念される。
		求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・求人をしている企業は全然変わらないが、一時的に 歳末を前にアルバイトの求人が若干増えている。
		求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・福岡地区では、通信会社の新サービスによる回線獲 得のため、コールセンターを中心とした求人が活発 だった。その影響もあり、フリーターを中心として人 手不足に陥り、求人活動が活発になった。また、お歳 暮シーズンを迎えての求人も活発だった。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	周辺企業の様子	・年末に入り流通関連の新聞広告が活発になるはずだ が、動きが鈍い。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・昨年のような求人の伸びがない。また、新規出店が あっても大量の雇用につながっていない。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・最近では求人倍率等も良くなって、就職も伸びている 部分もあるが、ここ2、3か月新規求人あるいは有効 求人の伸びが鈍化している。
		職業安定所（職 員）	雇用形態の様子	・パート求人が全求人の約3割を占める等、非正社員 化の促進がみられ、正社員に対する雇用需要が少な い。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数は引き続き堅調に推移しているが、10月 の新規求人に占める派遣、請負の割合が54%を占め た。
		学校〔専門学 校〕（就職担 当）	雇用形態の様子	・情報系、事務系の正職員採用が少なくなり、契約採 用や、短期採用に変わっている。
	やや悪く なっている	人材派遣会社 （社員）	周辺企業の様子	・雇用の環境を変える新たな起爆剤が見当たらない。 また年末商戦に伴う雇用の動きが、前年に比べ鈍い。
	悪く なっている			